

施策項目7

キャリア教育の充実

施策の方向性 ～10年後を見据えて～

- 社会的・職業的自立に向け、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、児童生徒一人一人のキャリア形成を育むために、キャリア・パスポート*を活用するなど、児童生徒が自身の変容や成長の自己評価を促すキャリア教育を実践します。
- 進学希望者が多い普通科高校等においても勤労観・職業観を育成するため、大学・大学院での学習や研究経験を必要とする職業に焦点を当て、大学や研究施設等の専門機関におけるアカデミック・インターンシップ*を推進するなど、計画的な就業体験を促すキャリア教育を実践します。
- 産業構造の変化やグローバル化等、社会の急激な変化に対応できる資質・能力を身に付けた人材を育成するため、企業や産業界、大学等と連携し世界を視野に地域の課題解決に主体的に取り組むなど、地域と学校が一体となった教育課程の改善・充実に図りながら、持続的な成長を促す産業教育を実践します。
- 高校においては、進路目標が定まらないまま卒業する生徒が存在することや、就職後3年以内に離職する割合が全国に比べて高い状況にあることから、キャリアプランニングスーパーバイザー*による学校支援を行うなど、生徒の自己肯定感を高め、職業意識を向上させるための就職指導の改善・充実に図ります。

主な取組

- **キャリア・パスポート等を活用したキャリア教育の推進**
 - ・ 家庭・地域など一体となり学校の教育活動全体を通して行う組織的かつ計画的な進路指導の強化
 - ・ 主体的に進路選択ができるよう、小・中・高校におけるキャリア・パスポート等の活用の促進
 - ・ 起業家的資質・能力の育成など、社会の形成に主体的に参画しようとする力を育成する学習活動の推進
 - ・ 児童生徒が自身の変容や成長を自己評価する学習活動を促進
- **就業体験活動（インターンシップ）の充実**
 - ・ 勤労観・職業観を育成する就業体験活動等の体系的な指導の強化
 - ・ 進学希望者が多い普通科高校に、アカデミック・インターンシップを含む就業体験活動の推進
 - ・ 大学や専修学校などの卒業が前提となる資格を要する職業にも拡大した就業体験活動の推進
- **地域や産業界と高校が一体となった社会に開かれた教育課程*の推進**
 - ・ 産学官が一体となった教育課程の改善を図る職業人材育成システム*の強化
 - ・ 産業界等と連携し、学びの場を学校外に確保した職業教育の推進
 - ・ デジタル化に対応した最先端の知識や技術を習得する実践的な職業教育の充実

関連する主な SDGs の目標

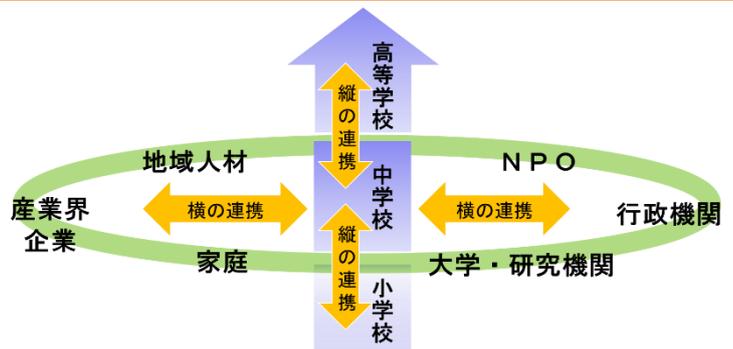


○ 職業意識の向上などに取り組むキャリアプランニングスーパーバイザーによる学校支援の充実

- ・ 指定事業等の成果の普及を通し、進路指導担当教員の資質向上の強化
- ・ 社会的・職業的自立を促し、社会や職業への円滑な移行に向けた就職指導の推進
- ・ 早期離職の改善など、高校生を取り巻く様々な就職問題に対応した指導の充実

キャリア教育の「縦」と「横」の連携

「キャリア教育」とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育であり、キャリア教育を十分に展開するためには、各学校におけるキャリア教育が「縦」と「横」の連携によって支えられる必要があります。



- ・ Web ページによるキャリア・パスポートの目的や好事例など情報発信の強化
- ・ 事前・事後学習にオンラインなどの ICT を活用した就業体験活動の充実
- ・ 地域や産業界と一体となったデジタル化に対応した職業教育の充実
- ・ オンラインを活用したキャリアプランニングスーパーバイザー研修の強化

【推進指標】

指 標	現状値	目標値(R9)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小 79.6%, 中 67.4% (R4)	小 89.0%, 中 79.0%
卒業までにインターンシップなどのキャリア教育に資する体験的な学習活動を経験した高校生の割合	44.6% (R3)	87.5%
高校卒業の時点において、進路希望を設定できていない生徒数	30 人 (R3)	20 人



担当課 HP

●キャリア・パスポート

児童生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方（在り方）を考えたりする活動を記録し蓄積する教材。

●アカデミック・インターンシップ

大学、裁判所、研究施設等の専門機関における就業体験活動（インターンシップ）。

●キャリアプランニングスーパーバイザー

各教育局に配置され、生徒の職業意識の向上や、各学校に対し就職情報の提供などの就職対策を行う進路相談員。

●社会に開かれた教育課程

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むこと。

●職業人材育成システム

第4次産業革命の進展、デジタルトランスフォーメーション、6次産業化等により、産業構造や仕事内容は急速に変化していることから、農業科や水産科などの専門高校において成長産業化を図る産業界と絶えず連動した職業人材を育成するシステム。